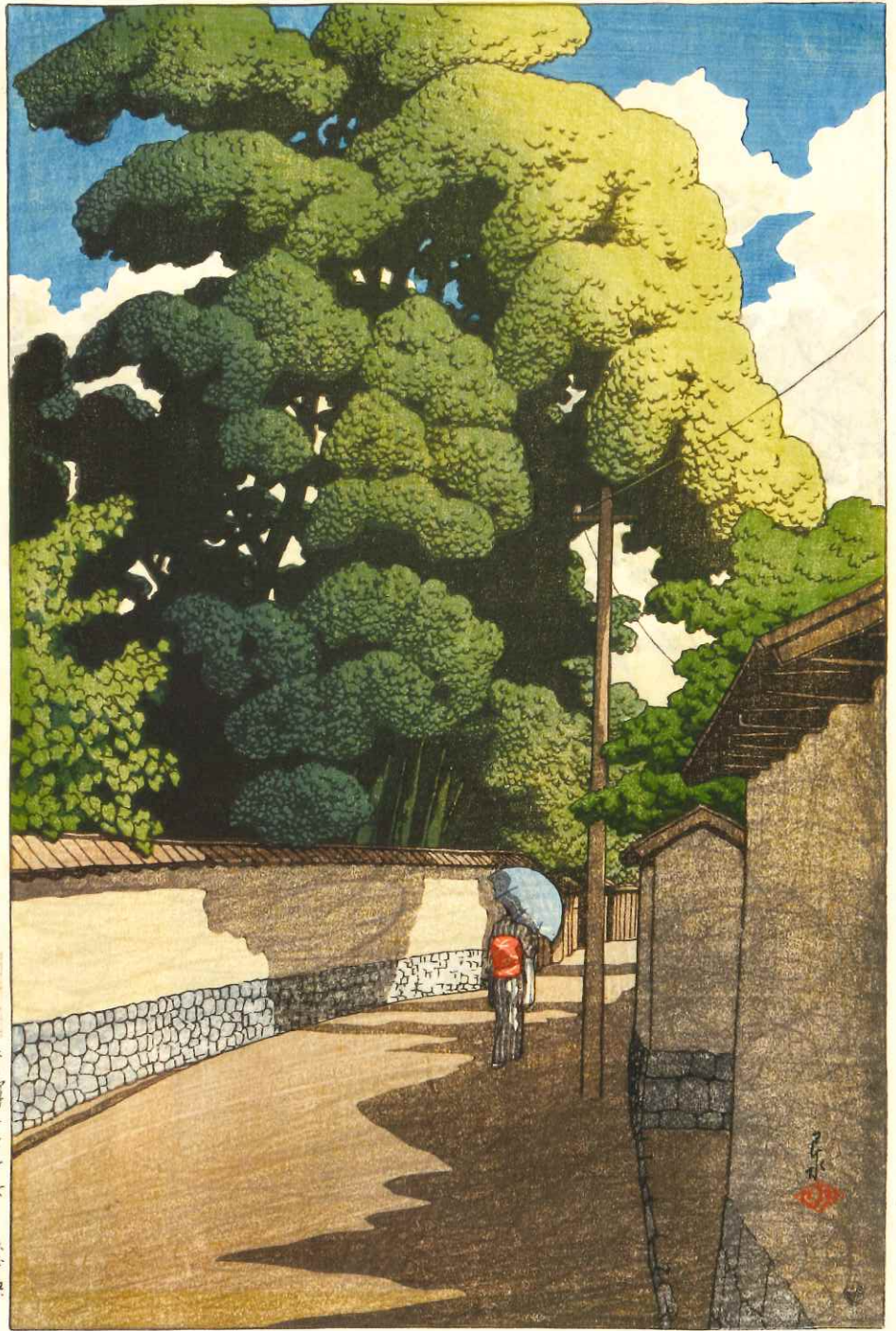


川瀬巴水展

開館30周年記念

荒井寿一コレクション



《旅みやげ第二集 金沢下木多町》大正二〇一九年

K A W A S E H A S U I

2021 4/24(土) — 6/13(日)

開館時間 9:30-17:00(入場は16:30まで) / 休館日 月曜日(ただし5/3は開館)、5/6(木)
観覧料 一般800(640)円 / 高大生500(400)円

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、毎週土曜日の高校生は無料

※各種障がい者手帳の交付を受けた方及び付添1名は無料

※65歳以上で平塚市民の方は無料、市外在住の方は団体料金(年齢・住所を確認できるものをご提示ください)

主催 平塚市美術館 / 特別協力 荒井寿一コレクション / 協賛 神奈川中央交通株式会社

平塚市美術館

SHONAN

THE HIRATSUKA MUSEUM OF ART

川瀬巴水展

2021
4/24(土) — 6/13(日)

このたび、平塚市美術館では地元コレクターの協力を得て、「開館30周年記念 荒井寿一コレクション 川瀬巴水展」を開催します。

川瀬巴水(東京生、1883-1957)は、大正から昭和にかけて風景版画を数多く制作した版画家です。幼少より絵に関心を寄せて十代で断続的に日本画を学びますが、家業を継ぐべき長男であったことから本格的に画業に身を投じることができませんでした。転機が訪れた20代半ばから葵橋洋画研究所での学習を経て、27歳で楠木清方に師事し、ようやく画家として歩み始めました。大正時代前半の巴水は、清方の弟子として雑誌の挿絵や口絵、広告図案などの仕事をし、「版」による制作に親しみました。やがて同門の伊東深水が制作した風景版画《近江八景》の連作に影響を受けて木版画制作をこころざし、版元・渡邊庄三郎と協力して、大正7(1918)年に塩原の写生にもとづく三部作を発表します。以後、約40年にわたって日本各地を写生旅行し、その地に暮らす人々の生活や四季折々の風景をもとに、詩情あふれる作品を数多く生み出しました。

本展は、昨年度開催を予定していた「川瀬巴水展」が新型コロナウイルス感染症対策のために中止になったことを受けて、荒井寿一コレクションのみで再構成したものです。荒井寿一コレクションは、川瀬巴水の初期から晩年までの優れた版画作品を網羅するほか、これまで紹介される機会の少なかった本の装丁や雑誌の表紙・挿絵・口絵、絵はがきなどのグラフィックデザインを含む充実したコレクションです。「版」という表現手段を通じて生み出された巴水作品の幅広さをお楽しみください。



《東海道風景選集 馬入川》昭和6(1931)年



《旅みやげ第一集 秋の越路》大正9(1920)年



《東京十二題 五月雨ふる山王》大正8(1919)年



《東京二十景 芝増上寺》大正14(1925)年



《塩原しほがま》大正7(1918)年



『写真通信』第154号 表紙
大正15(1926)年12月号



関根黙庵編『絵入黄表紙名作集』
表紙 大正11(1922)年2月刊

関連事業

★新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため延期または中止となる場合があります。

ワークショップ「水性多色木版画を作ろう！」

講師 内山良子氏(版画家)
日時 5月23日(日)、5月30日(日)、6月6日(日)
各日13:30~16:30 ※全3回講座、事前申込制
※詳細は当館ウェブをご覧ください。

担当学芸員によるギャラリートーク

5月8日(土)、5月22日(土) 各14:00~14:30 展示室II
※申込不要、要観覧券

同時開催 柳原義達展 2021年4月24日(土)~6月13日(日)



古今亭志ん生「棒鱈」挿絵
(『東京日日新聞附録 講談と落語』所収) 大正14(1925)年3月5日号

平塚市美術館

SHONAN
THE HIRATSUKA MUSEUM OF ART

〒254-0073 神奈川県平塚市西八幡 1-3-3
TEL 0463-35-2111 FAX 0463-35-2741
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/>

JR東京駅から東海道線、または新宿駅から湘南新宿ライン(直通)で約1時間。JR平塚駅東改札を出て北口よりバス4番乗り場乗車「美術館入口」(徒歩1分)または「コンフォール平塚前」(徒歩5分)下車。または平塚駅から徒歩20分。有料駐車場67台。市役所、博物館、図書館の駐車場も利用可(1時間無料・要認証)。

